

2022 ながの発達障がい啓発週間

「結」プロジェクト

4月2日～4月8日

長野県発達障がい者支援 シンボル・マーク「結(ゆい)」

「ライトブルーの色」は、世界自閉症啓発デーのシンボル・カラーです。

「鳥」は山を越えて正しい理解が県内中に広がるようにという願いが、「紐を結んだ形」は年代や分野を超えて関係者や県民が結びつくようにという願いが込められています。

県下一斉に、県の庁舎や市町村役場、病院、福祉センターなど50カ所以上で、ポスターやメッセージパネルなどを掲示します。

長野県PRキャラクター
「アルクマ」
©長野県アルクマ

「結」プロジェクトは4/2の「世界自閉症啓発デー」や4/2～4/8の「発達障害啓発週間」にあわせて行う県内の関係機関や親・家族の会の皆さん等と協力した啓発活動です。

主催 日本発達障害ネットワークながの (JDDnet ながの)
共催 長野県
後援 長野県教育委員会

発達障害 とは

発達障害には自閉スペクトラム症、注意欠如・多動症(ADHD)、限局性学習症(学習障害)、その他これに類する脳機能障害などがあります。

発達障害は、生まれつき脳の機能の一部に問題があって生じますが、すべての子どもたちは、いろいろな可能性と個性を持って生まれてくるものであり、発達障害もそうした生まれながらの可能性や個性の1つと考えています。

発達障害といっても状態像は多様です。また、同じ診断名でも、子どもの個性や、発達の状況や年齢、置かれた環境などによって目に見える症状は異なります。

よりよい人生を確かなものにする意味でも、早期からの専門的な療育や支援が必要です。

「障害」という言葉は、成長の中で「困ること」が生じる場合につけ加える言葉です。

人々が発達障害を正しく理解し、その方が「困ること」をしっかりと把握できることで、発達障害の方がよりよく自分らしく生きていけることとなります。

世界自閉症啓発デー とは

2007年に国連総会において、カタル王国王妃の提案により毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。



発達障害啓発週間 とは

2008年度、世界自閉症啓発デー・日本実行委員会(厚生労働省、日本自閉症協会等)が、毎年4月2日から8日を発達障害啓発週間とすることを決定し、この期間を中心に全国各地で、国、都道府県、市区町村、関係団体等が発達障害に関する啓発活動を活発に行っています。

発達障害を知っていただくこと、理解していただくことは、発達障害のある人だけでなく、誰もが幸せに暮らすことができる社会の実現につながるものと考えています。

日本発達障害ネットワークながの(JDDnet ながの)とは

全国組織の日本発達障害ネットワーク(JDDnet)と連携し、県内の発達障害に関わる様々な立場の人・団体などをつなぎ、発達障害の理解や支援を進めるネットワークとして2013年に発足しました。

JDDnet ながのの運営は医療・教育・福祉等の専門家である理事が行っており、長野県自閉症協会、長野県LD等発達障害児・者親の会よつ葉の会、長野県公認心理師・臨床心理士協会、長野県言語聴覚士会、特別支援教育士S.E.N.Sの会長野支部会、長野県社会福祉士会、長野県精神保健福祉士会が正会員として活動しています。

セミナーの開催や会報の配信、ながの発達障がい啓発週間「結」プロジェクトの運営とそのためチャリティセミナーを行っています。

寄付も受付けております。ご協力いただける方はホームページよりメールにてお問合せください。

<https://jddnagano.jimdofree.com/>

jddnagano@gmail.com

JDDnet ながの は会員の会費とイベントの収益で運営している非営利団体です。
